

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

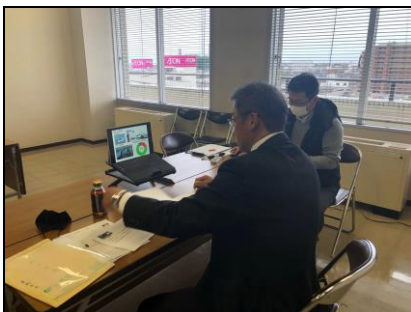
本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

**第26回全国青年・女性漁業者交流大会
水産庁長官賞、全水試場長会長賞受賞！
—3/2～3/3 グランドアーク半蔵門（東京）—**

3月2日～3日、グランドアーク半蔵門（東京）にて、「第26回全国青年・女性漁業者交流大会」がオンライン開催された。

三重県からは、1月9日から11日にかけて行われた、「令和2年度三重県青年・女性漁業者交流大会」で知事賞に選ばれた、松阪漁協・採貝部会（代表者：前田晃一氏）が発表を行った。

松阪漁協・採貝部会は「前浜に再びアサリを—俺たち漁師ができること—」と題した発表を全国大会で行い、水産庁長官賞に加え、全国水産試験場長会会長賞の受賞を見事に果たした。



**令和2年度・漁青連によるPR活動
三重TV「ミエライブ」で水産物PR
—3/15 三重テレビ放送（津市）—**

3月15日、三重TV「ミエライブ」にて、三重県漁青連の中村有介会長（答志）と橋本純氏（阿曾浦）が「漁業応援CM(提供:三重漁連)」の紹介などをスタジオ生出演で行った。

このCM制作には、コロナ禍で需要が落ち込む県産水産物の消費拡大に繋げていこうという目的で、漁青連や女性連・消費拡大協議会などが協賛し、中村会長は天然魚介類編、橋本氏は養殖魚編でそれぞれ出演している。

番組では、今後も継続して放送されるCMの告知や、県産各種水産物の魅力を存分にアピールし、中村会長は「三重の水産物の魅力を大勢の人に知ってもらい、その消費拡大に取り組んでいきたい」と語った。



法被姿の中村会長(左)と橋本氏(右)

**令和2年度
「三重漁民の森造成事業」で植樹実施
—3/20 三重外湾漁協(神原地区)—**

3月20日、「三重漁民の森造成事業」が南伊勢町神原地区で開催され、地域の漁業関係者ら6名が参加した。

標記事業は、漁業者自らが、森林が川や海にもたらす恩恵を再認識し、「森と海をつなぐ運動」を平成10年より実施している。

今年は、新型コロナウイルスの影響を鑑み、県内漁協を通じて活動地区を募集するかたちを取り、応募のあった三重外湾漁協・神原地区にて行った。

当日午前8時、神原の港に参加者が集まり活動の準備。苗木を船に乗せ、船で対岸に渡りクヌギ50本・カツラ5本を植えた。参加者は雨模様の中、これからの成長を楽しみに、下草刈りから植栽・獣害ネットの設置に至る約3時間の作業を一生懸命行った。



植樹活動を行う漁業関係者ら



植栽後に獣害ネットを設置する参加者



クヌギ・カツラ総数55本を植樹

【主な予定】

○3月24日(水)

・三重県漁業士認定授与式(津)

○3月26日(金)

・黒のり共販・8回汐(松阪)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。